

本書はテレビを受信できるまでの手順を説明しています。本機の詳しい使い方は取扱説明書を参照してください。また、本書と取扱説明書は大切に保管しておいてください。

# 1 内容品を確認する

本製品に付属する内容品を確かめてください。そろっていないときは、お買い上げ日から2週間以内に弊社ユーザーサポートセンターまたは販売店にお問い合わせください。

- 本体
  - 電源ケーブル
  - スタンド
  - スタンド金具
  - ハードディスク
  - ハードディスク用USBケーブル
  - リモコン
  - 3Dメガネ
  - ビニール袋にまとまって入っています
  - B-CASカード (使用許諾契約書 添付)
  - 製品保証書
  - 転倒防止バンド (ネジA×1) (ネジB×1)
  - 単4形乾電池 (×2)
  - 本体固定ネジ (×4)
  - スタンド金具取付けネジ (×4)
  - 取扱説明書
  - 録画・再生かんたんガイド
  - セットアップガイド (本書)
- ✕ 本製品にアンテナ線は付属しておりません。

## お使いのアンテナは、デジタル放送に対応していますか？

地上デジタル、BS/CS放送を受信するには、対応のアンテナが必要です。お住まいや受信する環境によって確認方法が異なるため、以下を参考にしてください。

### 地上デジタル放送を受信するには

一戸建てなど独立アンテナの場合、UHFアンテナが必要です。

古いアンテナを使用している場合や、アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない場合は受信できないことがあります。

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合や、共同受信施設の場合は、管理者または管理会社にお問い合わせください。

### BS/CSデジタル放送を受信するには

BS/CSデジタル対応のパラボラアンテナの設置が必要です。

BS/CSデジタル用パラボラアンテナ

マンションなどの集合住宅の場合は、管理者または管理会社にお問い合わせください。

有料チャンネルを視聴するには放送局との契約が必要です。各放送局にお問い合わせください。

# 2 スタンドを取り付ける

本体にスタンドを取り付けます。液晶画面に傷が付かないように、本体の移動には十分注意してください。

### 必要なもの

- 本体
- スタンド
- スタンド金具
- 本体固定ネジ (×4)
- スタンド金具取付けネジ (×4)

別途用意してください。  
プラスチックヤわらかい布 (本製品の梱包材でも代用できます)

### 1. スタンド金具をスタンドに取り付けます

青色で長いスタンド金具取付けネジを使います。

### 2. スタンドを本体に固定します

青色で短い本体固定ネジを使います。

向きに注意

# 3 付属品の準備

## 1. リモコンに電池を入れます

付属の電池は動作確認のため、通常より早く消耗する場合があります。交換する場合は、単4形(1.5V)の電池を使用してください。

電池の向きに注意

本体を動かすときは、2人以上で行うことを推奨します。

## 2. B-CASカードを挿入口にさし込みます

使用許諾契約書をよくお読みください。

ここまでさし込む

B-CASカードはデジタル放送を受信するために必要です。

向きに注意してください。B-CASカードを抜きさすときは、電源ケーブルをコンセントからはずしてから行ってください。

# 4 本体を設置する

## 1. 本体を設置します

画面の視野角は上下左右178°です。視野角を超えると視聴しづくなるため、テレビの正面からまっすぐ視聴できる位置に設置してください。

まっすぐ

上下左右178°

## 2. ハードディスクを本機につなぎます

ハードディスクは録画したデータを保存するために必要です。録画するときはかならず接続しておいてください。

つなぐ

つなぐ

USBケーブル

USB (録画用)

ハードディスク

ハードディスクは録画したデータを保存するために必要です。録画するときは、かならず接続しておいてください。ハードディスクは水平な場所に寝かせて置いてください。また、ビデオデッキなど、他の機器の上には置かないでください。動作に影響を与える場合があります。

# 5 アンテナ線をつなぐ

## 1. 本機の背面にアンテナ線をつなぎます

本製品にアンテナ線は含まれておりません。F型コネクタのついたアンテナ線を別途用意してください。

今まで使っていたテレビと交換する場合、接続していたアンテナ線が「F型コネクタ」のときはそのまま付け換えることができます。

つなぐ

つなぐ

地上デジタル/アナログ (VHF/UHF)

BS/CSデジタル

地上デジタル

壁面アンテナ端子にアンテナ線をつなぎます

地上デジタル・アナログ BS・CS

地上デジタル

アナログ

分波器を使用して地上デジタル/アナログとBS/CSにケーブルを分ける必要があります。分波器の種類や接続方法については、お近くの電器店などにお問い合わせください。

混合器を使用して地上デジタルとアナログを同じケーブルにまとめる必要があります。混合器の種類や接続方法については、お近くの電器店などにお問い合わせください。

# 6 電源を入れる

## 1. 電源ケーブルをつなぎます

奥までしっかりさし込む

さす

## 2. リモコンの電源を押します

電源が入ると「はじめに設定」画面が表示されます。

以上で接続は完了です。

受光範囲内で操作してください。

リモコンの機能やわかりやすい操作方法は、裏面を参照してください。

## 外部機器を接続する

外部機器との接続はP.54～P.55を参照してください。

ケーブルをまとめる

背面の結束バンドを使うと配線をきれいにまとめられます。アンテナ線などが抜けないように注意してください。

結束用バンド

## 転倒防止のため本機を固定する

地震などで本機が転倒しないように、設置面に固定してください。設置面への固定の方法には転倒防止バンドを使う方法と、ネジで直接固定する方法があります。

### 転倒防止バンドを使う

1. 本機と転倒防止バンドをネジAで固定します。
2. 転倒防止バンドをネジBで固定します。

付属の転倒防止バンドとネジを使ってお取り付けます。プラスチックヤわらかい布を用意してください。

### ネジで直接固定する

本機と設置面をネジBで固定します。

ネジA 黒色でネジ先端が平たい

ネジB 銀色でネジ先端が尖っている

奥のネジ穴を使用してください

手前のネジ穴を使用してください

# 7 初回設定を行う(はじめて設定)

## 1. お住まいの[郵便番号]を設定します。

画面の黄色い部分を選んでください。

リモコンの数字ボタンを使って入力します。「0」を入力するときは「10」を押してください。誤って入力した場合は◀▶で修正箇所へ移動してから再入力してください。

## 2. [地方]と[都道府県]を設定します。

リモコンの方向ボタンと決定を使って操作します。

地方を選んでいる状態で決定を押します。選択項目が表示されます。▶で地方を選んでから決定を押します。設定が反映されます。同じように都道府県も設定します。

## 3. [開始]を選んで決定を押します。

スクランが開始されます。

100%になるまでお待ちください

スクランに失敗したとき

接続に問題があるか、地上デジタル放送を受信できる環境でない可能性があります。裏面の「こままとさし込む」を参照してください。

再スキャン

それでも問題が解決できない場合は「次へ」で次のステップに進んでください。お近くの電器店にご相談の上、地上デジタル放送を受信できる環境にしてから再度チャンネルを設定(P.42)してください。

メッセージが消えると番組の画面が表示されます。メッセージは自動で消えますが、決定を押してメッセージを消すこともできます。

## 4. お好みの映像モードを選んで決定を押します。

決定

## 5. [完了]を選んで決定を押します。

完了

## 6. ハードディスク初期化のメッセージが表示されます。

ハードディスクの初期化が完了しました。

メッセージが消えると番組の画面が表示されます。メッセージは自動で消えますが、決定を押してメッセージを消すこともできます。

## 番組の画面が表示されない場合

ケーブル類が正しく接続されているか手順をはじめから見直してください。またケーブル類などがしっかりとささっているかも確認してください。それでも解決されない場合は裏面の「こままとさし込む」を参照してください。

製品仕様	
外形寸法	スタンドを含む 幅 75.5cm x 高さ 52.8cm x 奥行 23.2cm スタンド・突起部含まず 幅 75.5cm x 高さ 50.4cm x 奥行 6.4cm
画面寸法	幅 69.8cm x 高さ 39.3cm / 対角 80.1cm
受信機サイズ	32V型 約 11.5kg 約 10kg
質量	スタンドを含む スタンドを含まず
区分名	DF1
動作環境	使用時 温度 0～40℃ 湿度 10～90%RH (結露なきこと) 保管時 温度 -20～60℃ 湿度 10～90%RH (結露なきこと) 16:9
液晶性能	縦横比 画素数 視野角 コントラスト比 10:1 が確保できる角度 実用最大出力 10W + 10W (JEITA) アンダースピーカー 使用電源 消費電力 年間消費電力(スタンダード時) 待機電力
音声	1920 x 1080 上下 178°(左右 178°(TYP)) 音声出力 スピーカー AC100V 50Hz/60Hz 73W 約 57kWh/年 0.5W以下 クイック起動の設定時を除く
電源	地上デジタル/アナログ BSデジタル/110度CSデジタル 入力インピーダンス 75
接続端子	2系統 映像: 1系統 (RCA) 音声: L/R (RCA) 映像: 1系統 (ミニD-Sub15pin) 音声: 3.5ステレオミニジャック 光デジタル音声出力: 1系統 ヘッドホン出力: 3.5ステレオミニジャック USB 2.0 (ハードディスク専用) LAN (10BASE-T / 100BASE-TX) SDカード (SD / SDHC) 地上デジタルテレビジョン放送 (ISDB-T) 地上アナログ放送 (NTSC-J) ケーブルテレビ (C13-C63) BSデジタル放送 (ISDB-S) 110度CSデジタル放送 (ISDB-S)
受信放送	前0°後10° 上30°下30°左30°右30° 幅 7.5cm x 高さ 1.4cm x 奥行 11.7cm
チルト角度	約 180g
IR受光部受光角度	質量 約 180g
付属ハードディスク	電源 USB 2.0 USB パスワー

受信機サイズについて  
「32V型」は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

区分名について  
「エルギー」の使用の合理性に関する法律(省エネ法)では、テレビの画素数、表示素数、動画表示、および付属する機能の有無などに基づいて区分を行っています。

年間消費電力について  
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

ハードディスクについて  
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。  
VCCI-B

おことわり  
仕様および外観は、性能向上やその他の理由で、予告なく変更する場合があります。

本製品は、社団法人電波産業会(ARIB)が定める規格に準拠した仕様になっております。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。

